



<https://www.mothers.or.jp/>

Corporate Guide
& Information
事業案内

健康で
豊かな人づくり、
社会づくりに
向けて





組織理念

Idea

生活者と社会の健康を創造する 総合酪農組織

生活者とわたしたちは酪農業を通じ、
ともに力をあわせて
生活者と地域社会への健康づくりを目指すネットワーク組織です。

行動指針

Guideline

チャレンジ&リーダーシップ

私たちは、1人ひとりが何事にも挑戦する姿勢を持ち、
自らの指導性を発揮していきます。

組織スローガン

Slogan

人と自然の鼓動



シンボルマーク

熊本の燃える太陽、緑の大地、清らかな水をイメージする赤・緑・青。
それは、生活者と酪農家、らくのうマザーズのネットワークの象徴です。
大自然の恵みから生まれる牛乳が健康で豊かな人づくり、
社会づくりにつながるようにとの願いを込めています。



表紙のイメージについて

酪農の営み、その恵である牛乳が私たちの「命」や「暮らし」を
まるで、ゆりかごのようにやさしく包みこんでくれるイメージ
を表現しています。

ご | 挨拶



らくのうマザーズ会長
隈部 洋

燃える太陽、緑の大地、清らかな水。
豊かな自然が包み込む、ここ熊本。
大自然の恵みをうけて牛たちは健やかに育ち、
命の結晶であるミルクを生み出してくれます。

熊本は日本屈指の酪農県です。
日々、酪農家が牛たち、そして雄大な自然と向き合って生産活動に
取り組み、熊本の酪農を支えてきた積み重ねが、今に繋がっています。
グローバル化が進む中、国内農業の未来をリードする存在としての
酪農業でありたい。そして熊本の美味しい牛乳を全国、さらには世界
中の食卓へ届けたい。そのために熊本がリーダーシップをもって
進んでいくこと、そして先人の知恵を継承しながら、常に革新を
求めチャレンジしていくことを続けていかなければなりません。

その熊本の酪農を支える存在がらくのうマザーズです。
餌をつくること、牛を育てること、乳を搾ること、安全・安心な商品
を作ること、そしてそれを皆様にお届けすること。
酪農の生産現場から、熊本の美味しさを詰め込んだ商品を食卓へ
届けるまでのその過程すべてに携わり、酪農家と生活者を繋げる
ネットワークを広げていく。
「生活者と社会の健康を創造する総合酪農組織」
それがわたしたちらくのうマザーズの姿です。

自然、酪農家、そして生活者の皆様に寄り添いながらともに未来へ
歩んでいく。その歩みを優しくつつみこむ母として熊本の酪農を
トータルに支える。これこそらくのうマザーズの終わりなき使命なの
です。



生活者と社会の健康を
創造するために

「らくのうマザーズワールド」には、生産する人、製造する人、販売する人、そして、それぞれをつなぐ人がいます。そこから生まれるコミュニケーションを母として、わたしたちの「酪農の営み」をトータルにお届けします。





基本は 土づくり・草づくり・牛づくり

大地を耕し、種を蒔き、
日差しを匂いのする質の良い牧草をつくるのが酪農の基本です。
この安全で栄養価の高い草を食べて乳牛は健康に育ち、
風味豊かな牛乳が生まれます。
らくのうマザーズは総合的な環境づくりから酪農を支えています。



生乳業務事業



新鮮な生乳は、毎日工場へ直送

県内各地の牧場で搾られた生乳は、毎日ローリー車で集荷され、乳業工場へ直送されます。
一元的に集荷した生乳を全国の乳業メーカーへ多角的に販売する九州生乳販売農業協同組合連合会への橋渡しの役割も担っています。また、一年の生乳の需要動向をチェックしながら、生乳の需給バランスが保たれるよう努めています。

食肉・素畜事業

更なる品質の向上と、 流通体制の強化に努力しています

食肉事業は経産牛を再肥育し付加価値を高めた「クイーンビーフ」の販売、肥育技術指導や枝肉共励会の開催など、おいしい牛肉づくりに努めています。



マザーズ市場

素畜事業は、搾乳素牛の安定供給のため、初妊牛の生産供給、肥育素牛の斡旋などを行います。毎月県内外の乳牛を家畜市場に集めマザーズ市場(搾乳素牛セリ)を開催し、家畜の流通体制の強化、活性化に努めています。

購買事業

飼料などの安定供給をはじめ、酪農家をサポート

生乳の生産に必要な飼料や資材、草づくりに欠かせない種子や肥料などは、県内3か所に設けたマザーズステーションを拠点として酪農家へ安定供給されています。また、生産コストの低減につながる資材や新製品の情報提供をはじめ、酪農家が質の高い生乳をより多く生産できるよう、飼料給与や飼育環境のアドバイスも行っています。



飼料タンクへの搬入

飼料充填圧縮梱包機



国産飼料ならびにエコフィード飼料の利活用により、輸入飼料依存型体質の軽減を図り、あわせて給餌作業の省略化や生産低減等を目指し、TMR飼料(Total Mixed Ration: 混合飼料・完全飼料)の製造、供給など、酪農経営環境の改善・向上に努めています。



指導事業

豊かな未来に向け、
酪農家と共に考え共に歩む

酪農経営にとって大事な自給飼料生産や性別別受精卵の生産・移植のほか、乳質の向上を目的とした搾乳手技改善指導、暑熱対策指導など、効率的な生乳生産のための管理・指導を行っています。

また、乳牛の戸籍づくりを行う登録事業、戸籍に基づいて乳牛個々の能力を把握する牛群検定事業等、生産基盤の維持・強化に向けた各種補助事業や、本会独自の対策事業を酪農家とともに国・県と一体となって取り組んでいます。



最先端のバイオテクノロジーなど、蓄積された多くの技術やデータを活かし、乳牛の健康管理・経営管理指導を行う指導事業の業務は広範囲にわたります。獣医師は乳牛の病気を未然に防ぐ予防医学の啓発や診療等を行います。



自給飼料現地検討会



酪農後継者グループミーティング

労働の軽減化に向けたサポート事業の展開

酪農家は生き物が相手のため毎日が仕事です。酪農家の生産活動をゆとりあるものにするため、酪農家の作業代行を請け負う酪農ヘルパー組織の事務局としても活動しています。生産本部では牛のことだけでなく、酪農後継者育成塾の開催など、酪農家の持続的経営を多方面からサポートしています。

酪農理解醸成活動

生活者の皆様に酪農をもっと知ってもらうため、酪農青壮年部・女性部と連携し、保育園・幼稚園への出張子牛ふれあい体験や、6月には父の日にちなんだ「牛乳(ちち)を贈ろうキャンペーン」を実施し、県庁訪問や各地での試飲会開催など、牛乳普及PRに取り組んでいます。



県酪農青壮年部による哺乳体験



父の日に牛乳(ちち)を贈ろうキャンペーン

自然のおいしさ、そのままに

熊本は西日本一・全国3位の生乳生産量を誇る酪農王国です。この新鮮な生乳は酪農地帯にある熊本工場、菊池工場によっておいしい牛乳やヨーグルトへと生まれ変わります。安全で安心な熊本の自然が生んだおいしさを、らくのうマザーズが全国の生活者の元へお届けします。





熊本工場



常に時代のニーズに合わせた 製品づくりを胸に

熊本工場では、牛乳・乳飲料やヨーグルト・プリン等のチルド商品を製造しています。搾りたての生乳を、牧場から毎日ローリー車で一元的に集荷しています。新鮮さを保つ徹底した管理は、厳しい基準により実施され、高品質な商品を日々製造しています。

阿蘇山麓の生乳を100%使用したプレーンヨーグルトや、熊本の県産果実を使用したヨーグルトなど、高品質な熊本の生乳をふんだんに使用した商品を幅広く製造しています。



取り扱いをより便利にしたキャップ付パックを新たに導入し、生乳の産地を限定した産地ブランドの牛乳や生乳本来の風味を残した低温処理牛乳、お子様や高齢者へおすすめの100mlサイズ牛乳など、生活者の細かいニーズに対応した商品を製造しています。



安全安心

徹底した品質管理から始まるお客様との信頼の絆

生活者の信頼に応えるため、徹底した品質管理のもと、安全安心な商品をお届けできるよう、原材料受入から製造、出荷に至るまでの工程ごとに理化学・微生物・官能など様々な検査を実施し、クリアした商品のみを日々出荷しています。

また、お客様からのご意見も、可能な限りよりよい商品づくりに反映しています。



菊池工場



最新の設備から生まれる おいしさのバリエーション

菊池工場では最新の設備により、常温で長期間保存可能なロングライフ(LL)商品を製造しています。新鮮な生乳を素早く殺菌処理し、特殊包材に真空パックすることで、いつでもおいしく飲める牛乳や乳飲料として販売しています。

発売から40年以上のロングセラー「カフェ・オ・レ」をはじめとした飲料はコンビニ等の量販店や自動販売機で販売されており、大阿蘇牛乳1000mlなどは飲食店等で業務用としても支持されています。徹底した厳しい管理のもと、高品質な商品を日々製造しています。



LL製造ライン

高速充填機

商品開発

価値ある新しいおいしさを皆様へ

熊本県産の新鮮な生乳を中心に考え、3つの視点(生活者、市場、独自)から、安全・安心でおいしい商品を開発することを基本としています。独自視点のひとつとして、熊本の特産品をアピールしたオリジナリティあふれる商品開発を進めています。





販売事業



生産から販売まで
一貫した流れで食卓へ

牧場で搾られた新鮮な生乳は、毎日ローリー車で集荷され、熊本・菊池の両工場で、牛乳・加工乳・乳飲料・デザート商品などのチルド商品や常温保存可能なロングライフ商品に生まれ変わります。
乳業事業では商品の製造から生活者の食卓に並ぶまでの販売活動を行っています。



さらなるグローバル化をめざして
海外へも商品を提供

らくのうマザーズには国内に9か所の支店・営業所があり、熊本から全国、さらに海外まで商品をお届けしています。量販店をはじめ、宅配、生協、業務用問屋、学校給食や食品メーカー向け原料乳などの供給を行っています。

らくのうマザーズ 阿蘇ミルク牧場

より多くの人々に酪農業の魅力や大切さを伝えるため、豊かな酪農文化を背景に、生産者と生活者の交流や酪農・乳業への理解醸成に取り組んでいます。阿蘇ミルク牧場は、雄大な阿蘇山を取り囲む外輪山の標高430mに位置し、総面積33haの広大な敷地からは、天気の良い日は遠くに長崎県雲仙普賢岳が眺望できます。牧場では世界5大乳牛といわれるホルスタイン・ガンジー・ジャージー・エアシャー・ブラウンスイスの5種類の乳牛を飼養しています。それぞれの乳牛の生乳をブレンドして牛乳やチーズ、バターなどを製造しています。

学ぶ・体験する

牛のこと、酪農のことを見て触れて体験して、命の温かさ、職・食・触を知ってもらうため、牛舎では牛の乳しほり体験を毎日開催しています。牛乳はどんなふうにかけるのか、乳牛のぬくもりなど知ることができます。



動物とふれあう

阿蘇ミルク牧場には、乳牛のほかに山羊、羊、犬、豚、ポニー、うさぎ、鴨、モルモットなど、たくさんの動物が暮らしています。ふれあい広場ではそんな動物たちと自由にふれあうことができます。また、ポニーの乗馬体験や、山羊・羊の動物レースも行っています。



手づくり体験館

ミルク牧場内で製造している牛乳や熊本県産にこだわった材料を使いパン、ウインナー、バター、季節のスイーツなどの手づくり体験教室を開催しています。



食べる・買う

自家製乳製品や季節の野菜などを使った料理が楽しめるバイキングレストランや、熊本県産牛肉が味わえるバーベキューで熊本の自然の恵みがお楽しみ頂けます。またミート製品をはじめ、牧場内で製造している牛乳やチーズ・バター等のお土産が揃っています。



普及活動



牛乳への理解醸成の一環として、工場見学の受け入れを積極的に行っており、普段飲まれている牛乳がどのように製造されているのかを知って頂く活動を行っています。

PR活動



マザーズ商品をご愛顧頂いている皆様への恩返しとして、らくのうマザーズ感謝祭等のイベントを開催しています。その他各種イベントでの牛乳試飲など、地域に根差した活動も行っています。



施設紹介

らくのう体験・牛舎

みはらしの家・乗馬体験

パークスタジアム

ジュージュハウス

グランドゴルフ場

手づくり体験館

牧場のパン屋さん

マザーズキッチン

ふれあい広場

ミルク工場

モーソーソフトの家

ミルク市場



History

沿革

昭和25年 4月 熊本県酪農協会(県酪連の前身)設立
 昭和29年 4月 熊本県酪農業協同組合連合会設立
 昭和39年 3月 熊本県酪農政治連盟発足
 昭和41年 4月 熊本県指定生乳生産者団体として認可
 ” 県内生乳の一元集荷多元販売開始
 昭和43年 4月 関西市場向け生乳出荷開始
 昭和49年 9月 熊本工場(市乳)操業開始(らくのう牛乳発売)
 昭和50年 4月 学校給食供給事業開始
 昭和51年 10月 食肉事業開始
 昭和52年 10月 酪農ヘルパー事業開始
 昭和57年 7月 ET(受精卵移植)事業開始
 昭和58年 11月 菊池工場操業開始(LL製品発売)
 昭和60年 8月 デザート工場操業開始(デザート製品発売)
 平成2年 11月 全日本ホルスタイン共進会 熊本開催
 平成4年 12月 ドナー管理センター開設
 平成6年 6月 CI導入により組織愛称「らくのうマザーズ」スタート
 平成6年 7月 創立40周年、らくのう牛乳発売20周年式典
 平成6年 11月 マザーズステーション開設
 平成11年 11月 九州生乳販売農業協同組合連合会設立、加入

平成12年 1月 株式会社マザーズファーム設立
 平成12年 4月 阿蘇らくのうパークオープン
 平成13年 5月 マザーズ会設立
 平成15年 4月 阿蘇ミルク牧場リニューアルオープン
 平成16年 4月 創立50周年、らくのう牛乳発売30周年式典
 平成19年 2月 県産牛乳海外輸出開始
 平成19年 3月 本会事務所移転(水道町から戸島へ)
 平成24年 2月 八代TMRセンター開設
 平成26年 12月 創立60周年、らくのう牛乳発売40周年式典
 平成30年 4月 キャップ付容器販売開始
 平成31年 4月 菊池工場製造棟増設
 令和6年 7月 熊本工場冷蔵倉庫増設



Outline

組織概要

設立 昭和29年4月3日
 組織理念 生活者と社会の健康を創造する総合酪農組織
 生産者とわたしたちは酪農業を通じ、ともに力をあわせて生活者と地域社会への健康づくりを目指すネットワーク組織です。
 会員 20会員
 代表者 代表理事会長 限部 洋
 役員 理事12名 監事3名 職員272名
 出資金 9億5,878万円(令和5年度実績)
 売上高 730億1,500万円(令和5年度実績)
 生乳業務事業 340億7,600万円 素畜事業 12億8,900万円
 購買事業 104億4,100万円 乳業事業 236億6,000万円
 指導事業 7億3,900万円 阿蘇ミルク牧場事業 3億8,200万円
 食肉事業 24億2,800万円

事業所
営業所

■ 本会	〒861-8041 熊本県熊本市東区戸島 5-10-15	
総務部・管理部・総合企画室・監査室		TEL.096-388-3511
情報システム課		TEL.096-388-3518
生乳業務課		TEL.096-388-3517
購買課		TEL.096-388-3515
経営支援課		TEL.096-388-3516
技術課		TEL.096-380-6204
営農指導課		TEL.096-388-3510
素畜課		TEL.096-388-3564
乳業統括部・営業部		TEL.096-388-0101
物流管理課		TEL.096-380-3325
熊本支店		TEL.096-380-3232
製品開発課		TEL.096-388-3553
熊本工場		TEL.096-380-1355
品質保証部		TEL.096-388-0290
■ マザーズステーション	〒861-1204 熊本県菊池市泗水町永 1467-1	TEL.0968-38-5831
■ 城南ステーション	〒869-0512 熊本県宇城市松橋町古保山 2748-10	TEL.0964-32-4359
■ 球磨ステーション	〒868-0408 熊本県球磨郡あさぎり町免田東 1524-1	TEL.0966-43-1211
■ 食肉課	〒861-1343 熊本県菊池市七城町林原 9	TEL.0968-26-4372
■ 菊池工場	〒861-1211 熊本県菊池市泗水町亀尾 3533	TEL.0968-38-2311
■ 福岡支店	〒816-0912 福岡県大野城市御笠川 2-16-15 2F	TEL.092-503-1663
■ 北九州営業所	〒807-0073 福岡県北九州市八幡西区町上津役東 1-15-24	TEL.093-612-8120
■ 南九州営業所	〒899-5652 鹿児島県姶良市平松 3942-2	TEL.0995-64-5757
■ 大分営業所	〒870-0921 大分県大分市萩原 2-10-18	TEL.097-551-2124
■ 長崎営業所	〒854-0022 長崎県諫早市幸町 79-64	TEL.0957-24-2107
■ 中四国営業所	〒732-0053 広島県広島市東区若草町 10-12 日宝若草町ビル 302	TEL.082-261-5261
■ 関西営業所	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 2-31 インフォ・クロスエサカ 4F	TEL.06-6338-8228
■ 関東営業所	〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-37-2 酪農会館 605	TEL.03-3379-1051
■ 阿蘇ミルク牧場	〒861-2404 熊本県阿蘇郡西原村河原 3944-1	TEL.096-292-2100

[令和6年7月1日現在]

組織
機構図

